ドネペジル塩酸塩「サワイ」を服用される方とご家族・介護者様へ

～お薬の説明と服用の注意点～

ドネペジル塩酸塩「サワイ」を服用する時の注意事項

このような方は、医師または薬剤師にご相談ください。

- 以前、このお薬や他の認知症治療薬を飲んで異常がみられた方。
- 他のお薬で過敏症がみられた方。
- アレルギーや持病のある方。
- 他に飲んでいるお薬がある方（他のお薬と一緒に飲むと、お薬の効果が弱まったり副作用がでやすくなることがあります）。

このような時は医師にすぐご連絡ください。

- 間違えてお薬をたくさん飲んでしまった時。

このほかにも次の点にご注意ください。

- アルツハイマー型認知症では、車の運転など危険を伴う機械の操作能力が低下することがあります。また、このお薬により、意識障害、めまい、眠気などがあらわれることがありますので、車の運転など危険を伴う機械の操作はしないようにしてください。

医療機関 連絡先

監修 いのくちファミリークリニック
院長 遠藤 英俊 先生

沢井製薬株式会社

GU200001PV03

2022年6月Ⓚ10

Q アルツハイマー型認知症はどんな病気ですか？

A 脳の中に異常なタンパク質が蓄積することなどが原因で、脳の神経細胞が減少したり、脳の萎縮が起こる病気です。ものごとを記憶したり、考えたり、判断したりすることがむずかしくなります。

初期の段階では約束を忘れたり、物を置き忘れたり、なくしたりするといった記憶の障害や混乱が起こりやすく、そのため、不安になったり、いらだったり、怒ったりすることがあります。症状が進行するにつれ、日常生活に支障をきたすようになります。

Q ドネペジル塩酸塩「サワイ」はどのように服用しますか？

A 1日1回服用してください。
お薬の服用にあたっては医師の指示を守ってください。

- ◆ 錠剤の場合、はじめは3mgのお薬（黄色）から開始し、体が慣れる1～2週間後に5mgのお薬（白色）になります。その後、症状の進行に合わせて10mgのお薬（ピンク色）になることもあります。細粒剤の場合もあります。
- ◆ ドネペジル塩酸塩「サワイ」は1日1回服用するお薬です。食前、食後、食間、寝る前など、いつ飲んでも構いませんが、医師から指示のあった場合はそれに従って服用してください。

☘ ☘ ☘

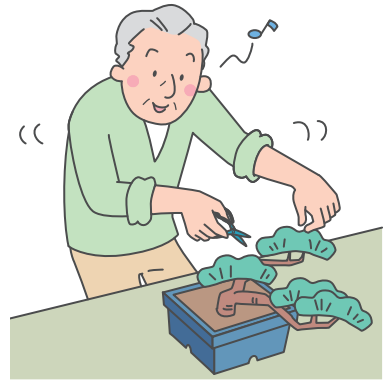
- ◆ 飲み忘れても2日分を一度に飲まないでください。
- ◆ 症状に変化が見られなくても、患者さん本人や家族の判断で服用を中止したり、量を変更したりしないようにご注意ください。
- ◆ 飲み忘れを防止する工夫として、医師から特別な指示がない場合は朝食後など時間を決めて服用したり、家族や介護者の方が服用を管理する方法があります。

Q ドネペジル塩酸塩「サワイ」はどんなお薬ですか？

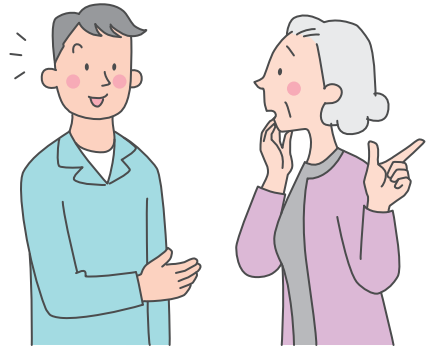
A アルツハイマー型認知症による症状の進行を遅らせるお薬です。
もの忘れや失敗が減ったり、家族とのコミュニケーションが良くなることがあります。
早期から飲み続けることが大切です。

挨拶ができるようになった

家事に対する意欲が出てきた



趣味に対する興味が出てきた



聞き返す頻度が減った

置き忘れが減った

ドネペジル塩酸塩「サワイ」は症状の進行を抑えますが、家族や介護者の方がコミュニケーションを取ることでも、進行が遅れると言われています。服用し始めてからの変化をチェックするとともに、会話やスキンシップも心がけましょう。

Q ドネペジル塩酸塩「サワイ」には、どのような副作用がありますか?

A 食欲不振、吐き気、下痢、また興奮して怒りっぽくなることもあります。

お薬の飲み始めや、量を増やした時に食欲不振や吐き気、下痢などが起こることがありますが、体がお薬に慣れてくると、そのような症状が少なくなることもあります。(興奮して怒りっぽくなった場合の対応は、次頁をご覧ください。)
副作用の症状が強かったり、いつもと違う状態になった場合は医師や薬剤師にご相談ください。

Q 普段の生活の中で家族が気をつけることは？

A アルツハイマー型認知症の治療には、患者さんの生活を支える家族の協力が必要です。ドネペジル塩酸塩「サワイ」で治療し、患者さんが生き甲斐を持って暮らしていけるような環境づくりや、「その人らしさ」を尊重したケアをすることが大切です。

Q 何度も同じことを聞く時は？

A：すぐ前に起きたことや聞いたことを忘れるのがアルツハイマー型認知症の症状です。責めずに、初めての様に何度でも対応しましょう。短い簡単な言葉をゆっくり話すことで、理解しやすくなることもあります。

Q 「物を盗られた」と言う時は？

A：「失くしたんでしょ」などと否定せず、共感することで患者さんは安心します。「お茶を飲んでから探しましょう」など、関心をそらすのも良い方法です。

Q イライラと落ち着かなかったり、怒っている時は？

A：患者さんの怒っている原因が、認知症による症状である場合と、お薬による副作用で興奮している場合があります。いずれの場合でも注意したり、たしなめたりすると逆効果です。まずは落ち着いて話を聞き、話題を変えるなどしましょう。